

ほかにも多彩なテーマで質問

保育士など**ケア労働者**の待遇改善

病院の統廃合やめ、**産科**を守れ

コロナ給付金をDV被害女性にも届けよ

子どもの貧困対策、**学校給食**は無償に

災害時の**LGBTQ**の人たちの困難について

女性差別撤廃条約**選択議定書**の批准を

博物館学芸員の女性比率引き上げを

暴力とハラスメント禁止**ILO条約**の批准を

実際に性交のある**AV**を規制する法整備を

自衛隊内の性暴力なくせ

統一協会の**性教育**への介入について

芸能界での暴力・ハラスメントの根絶を

ジェンダー平等社会実現のために
法案も提出! [共同提案含む]

婚姻の平等法案

選択的
夫婦別姓法案

性暴力被害者
支援法案

LGBT差別
解消法案

母体保護法の中絶の同意要件撤廃と
刑法墮胎罪改正法案

国会質問

「しんぶん赤旗」のHPから「国会議員の質問」ページで読めます。



日本共産党
公式サイト



ジェンダー平等
委員会
「JCP with You」
特設サイト



日本共産党の 国会 ジェンダー質問

特集

国会議員**21人**
ジェンダー関連の国会質問は
2年間で**120回**以上

2023
ジェンダーギャップ指数
日本**125位** (146か国中)

ただで**声をあげれば変えられます**

男女賃金格差の
公表が実現!

痴漢の実態調査
痴漢撲滅のとり組み前進

刑法改正で
不同意性交が罪に

ツーブロック禁止の
校則がなくなった

職場でのヒールパンプス
強制ルールが変わる

日本共産党は50年以上前から、妊婦の通勤緩和、生理休暇などを国会で求め、実現させてきました。一緒に力をあわせて、ジェンダー平等を求める声を広げていきましょう。

しんぶん
赤旗

2023年 秋号外

日刊●月3,497円 日曜版●月930円

発行●日本共産党中央委員会 〒151-8586 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-26-7 TEL 03-3403-6111

日本共産党が発表した見解を紹介します。ご意見・ご感想をお寄せください。

性暴力から子どもを守れ 包括的性教育の実施を

日本財団「18歳意識調査」から学校の性教育で「避妊方法を具体的に知りたかった」という声は約6割にのぼっていることも示し、年齢・発達段階に応じた「包括的性教育」を位置付けるよう求めました。

〈2023/4/10 参院決算委員会〉

女性トイレの増設を

駅や空港、大規模な商業施設で女性がトイレに並ばなければいけない実態を告発。国交省にトイレ数の把握を求めました。

〈2023/5/9 参院内閣委員会〉

女性労働者の待遇改善 フリーランスにも産休・育休を

2017年のフリーランス協会の調査によると、産後一か月以内に仕事を開始したと答えた方が44.8%に上ります。フリーランスは育児休業支援金がもらえない実態をつきつけ、産休、育休、ちゃんと取れるように制度を整えるべきと求めました。

〈2022/2/28 参院予算委員会〉

選択的別姓は人権問題 LGBT差別は許すな

氏名は、個人にとっての重要性は極めて高く、個人の尊厳として尊重されるべきものです。選択的夫婦別姓は、個人の尊厳の問題であって、人権の問題だと追及。LGBT差別解消法案も他党と共同して提出しました。

〈2022/11/2 衆院法務委員会など〉

性搾取とたたかう 若年女性支援活動を守れ 若年妊婦に国の支援を

虐待や性被害に遭う若年女性に寄り添う支援団体への妨害激化について、「妨害の本質は女性の人権への敵対だ」として警察庁や厚労省など関係省庁に支援団体を守るよう求めました。また、民間シェルターが帰る家のない若年妊婦の救いの場になっていると指摘し、支援策を要求しました。

〈2023/3/17参院法務委員会、2022/12/7衆院沖縄北方特別委員会〉

ジェンダー平等の推進で

“あなた”が輝く社会を
一緒につくります。

日本共産党

DV防止法は デートDVも対象に

DV(配偶者などからの暴力)防止法改正案が23年5月に可決。DV防止法の適用範囲をデートDV(同居していない交際相手などからの暴力)にも広げるよう求めました。

〈2023/5/10 衆院内閣委員会〉

望まない妊娠なくせ 経口中絶薬10万円は高すぎ

「産むか、産まないかを決めるのは女性の基本的な人権だ」と述べ、中絶の配偶者同意要件を批判しました。また、経口中絶薬の世界平均価格は約1000円だと紹介し、日本で安価で手に入れやすくすることも求めました。

〈2023/5/10衆院厚生労働委員会〉

在日米軍の女性暴行・ 死体遺棄を許すな

2016年4月に沖縄県で女性が行方不明になり、その後、その女性の死体遺棄容疑で元海兵隊員、米軍属を逮捕。欧州各国は基地への立入り権を明記しているが、日本では立入りできない不平等を指摘し、改善を求めました。

〈2022/4/27 参院 政府開発援助等及び沖縄・北方問題に関する特別委員会〉

痴漢被害アンケートの実態示し、 痴漢撲滅のとりくみ求める

党東京都委員会や都議団が2020年と21年に実施した調査結果を示し、「学校に行けない」「仕事を辞めざるをえない」など被害後も深刻な苦痛が継続しているケースがあると強調。啓発ポスターの内容の見直しや、全国的に統一した対策を求めました。

〈2022/4/4 参院決算委員会〉

男性公務員の 育休の取得UPへ 公務員の増員を

政府は2025年までに男性の育休取得率3割を目指していますが、男性地方公務員の取得率は低く、期間も短いことが課題。育休取得を進めるには、代替職員の配置と仕事を引き継ぐ体制づくりが必要だと迫りました。

〈2022/4/7 衆院総務委員会など〉

共産党の議席が増えれば、質問時間が増え、
取り上げるテーマを増やすことができます。